

# 故郷はどこにいても 忘れることのできない 大切な場所

**ノーベル医学・生理学賞受賞**  
**蕪崎市名誉市民・北里大学特別栄誉教授**

## 大村 智 博士

蕪崎に帰ってきて、あらためて感じることは、私はここで育ったんだなと実感をするということ。

本当に良い場所で育ったなと思います。

故郷というのはどこにいても忘れることのできない大切な場所なんです。

ここは本当に風光明媚・・・。

こんなに美しい場所は、世界中を探してもそうは無いですね。

眺望は人を養うという言葉があるんですが、

きれいな場所に生まれ、そして育つということは、

人をまともなものにするんです。

(平成 27 年 10 月 17 日、帰郷後の公式記者会見にて / 蕪崎大村美術館)



写真：幸福の小径命名記念式典で大歓迎を受け笑顔を見せる大村博士  
(平成 27 年 12 月 20 日 / 甘利沢川さくら公園)



# ノーベル賞を育んだ美しい風景、素晴らしい環境 大村博士の少年時代の通学路を 幸福の小径と命名



▲記念式典の後に行われた歩き初めには多くの方が参加し賑わいました。

大村智博士が少年時代に萑崎中学校（現在の市役所）まで通われた通学路を、このたびのノーベル医学・生理学賞の受賞を記念して、「幸福の小径（こうふくのこみち）」と名付け、平和と幸福のために貢献した大村博士の偉業を末永く称えていきます。

12月20日には、大村博士にもご臨席をいただくなか、命名記念式典が開催され、市内外から約1400名もの方々が一目博士を見ようと会場に駆けつけました。

今後、幸福の小径には大村博士の銅像や、博士が名譽理事長を務める女子美術大学の学生やOGら新進気鋭の若手芸術家の彫刻作品などを設置し、アートで創出する新しい憩いのスポットとして、市民の皆さんをはじめ、多くの方々に末永く愛され、親しまれる小径となるよう整備をしていきます。



▲熱烈な歓迎を受け、笑顔で挨拶をされる大村智博士（命名記念式典、12月20日）

この美しい風景と素晴らしい環境を多くの方々に観ていただきたい

このたびは、皆さんのご協力により、私が少年時代に通った道を「幸福の小径」と命名し、多くの方々に歩いていただくことは、大変光栄なことです。この美しい風景と素晴らしい環境を多くの方々に観ていただき、訪れた皆さんの思い出になっていただければ幸いです。

また、こんなにも多くの方々に集まっていたいただき、ありがとうございます。小さいお子さんからも手を差し伸べられたりして、大歓迎・大祝福を受けているんだと思つと本当にうれしく思います。

故郷萑崎は、私を懐深く迎えてくれる場所です。この地にノーベル賞を持って帰ってこれて本当に良かったです。



記念式典に来場した広瀬はるかさん、清水双葉さんは、「ノーベル賞を受賞したすごい人に会ったんだと思うと、うれしくてたまらないです。私たちも大村博士みたいに、勉強や習字などを頑張つて、賞をとってみたいです。」と話してくれました。

（幸福の小径看板の前にて）

※「幸福の小径」題字 書家 田中志津 先生



▲ノーベル賞授賞式観覧会には、地元の方々や母校・山梨大学の学生、山梨科学アカデミーの関係者など約200名が参加。



写真提供 学校法人北里研究所

割れんばかりの拍手、  
本当にすばらしい  
授賞式だった

12月10日にストックホルムで行われたノーベル賞授賞式で、カール16世グスタフ国王からノーベル医学・生理学賞を授与された葦崎市名誉市民の大村智博士。

12月20日には、内藤市長が大村博士の神山町のご自宅を表敬訪問し、授賞式やその後に行われた晩餐会・現地ストックホルムの様子、そして何より受賞の喜びをあらためてお伺いしました。



▲神山町のご自宅で授賞式の様子を話される大村博士  
(12月20日)

『授賞式はコンサートホールで行われたんですが、とても緊張をしましたね。メダルが授与されると、約1200名くらいの観衆から割れんばかりの拍手が送られ、本当に印象的で、他の賞では味わえないほどすばらしかったです。授賞式の後には催された晩餐会では、スウェーデン王妃と王女に囲まれ食事をしました。その際に王妃から、ノーベル賞の賞状の文字が印刷文字の



▲授賞式後に笑顔で会場より出てきた大村博士（ストックホルム）写真提供：山梨県

ように見えるが全部手書きであるということも教えていただいたんです。上手に書くもんだなと感心しましたね。食事もすべて美味しく忘れてられません。

（葦崎では授賞式の観覧会が行われそうですが）深夜にも関わらず大勢の方々が集まり祝福してくれて大変ありがたいことですね。

また、現地では、記者の方々からよく追いかけられ、たくさん取材を受けたことも印象に残っています。（笑）

受賞して感じるのですが、亡くなった妻は、結婚生活の3分の2が病気との闘いでした。でも泣き言などは決して言わずに頑張りそして支えてくれたんです。本当に感謝をしています。』

このように大村博士に受賞の喜びなどをお話しいただきました。ノーベル賞受賞本当におめでとうございました。

**大村智名誉市民ノーベル賞受賞特別企画展「武田の里が育んだ偉大な科学者の軌跡」**

大村博士の経歴や業績等についてご紹介するとともに、偉業を成した博士を育んだ葦崎の魅力について多くの方々を知っていただく企画展です。皆さん、ぜひこの機会にご覧ください。

■開催期間 5月8日（日）まで **【入場無料】**

■開催場所 葦崎市ふるさと偉人資料館（市民交流センターニコリ1階）

※ノーベル財団公式レプリカ「ノーベル賞メダル」の特別展示については、展示日が指定されております。お問い合わせいただくか、市ホームページ及び情報カレンダーで展示日をご確認ください。

■問い合わせ 葦崎市ふるさと偉人資料館 ☎ 21-3636